

謹
賀
新
年

新年明けまして

おめでと〜うございませす



撮影場所：伊勢神宮

今年^{きのえうま}は甲午の年。
世の情勢がガラリと変わる重要な年とされています。
六十年周期の後半に入った最初の年でもあり、今年の決めた方向性で新しい時代(十年)の結果が決まるとされる大きな意味を持った年でもあります。

さて一昨年12月に発足した安倍政権は、大胆な金融政策や新たな成長戦略で長く停滞した日本を、再び成長軌道へと方向転換してきている様に思います。
加えて2020年の東京オリンピック開催も決まり、日本にフォローの風が吹き始めたのは良い事だと思っております。
ただ、日本が抱える本質的な問題(財政問題、少子高齢化対策、教育制度改革、税制改革、規制緩和等々)は、未だ抜本的解決には程遠い状況下であり、2020年迄の7年間で日本に残された最後のチャンスだととらえて、国民1人1人が依存心を捨て自立から貢献へと意識を切り変えて、生きる姿勢を正す必要性を感じております。

昨年、徳真会グループは、東北大震災で大きな被害が出た石巻市で5月に新たな診療所を開設し、歯科医療を通じて永続的に石巻地区への貢献を本格的に始めさせて頂きました。
また領土問題等をめぐり互いに反中、反日感情が高まる日中関係の中で、上海徳真会は、昨年も歯科分野では唯一の最優秀医療機関として、上海市政府より表彰されました。
今後も歯科医療を通じて、日本に対する中国の評価を上げてゆく努力をしてゆくつもりでおります。

また、オスロ大学との学術提携も進みオスロ大学が開発した、近年世界的に問題となってきたインプラント歯周炎へ効果のある特殊な歯ブラシを、徳真会を通して日本とアジアへ普及する動きも始まりました。

加えて技工分野では、ミリングセンターを東京(目黒)に開設し、コンピューターを使った新たな技工物の生産体制も確立され、世界からの受発注体制を可能にしています。

昨年は、国内外延べ約90万人の患者様に御来院頂きました。今年も、年々多様化してきている患者様のニーズに対応出来る医療機関を目指して、スタッフ一同努力してゆく決意しております。

具体的に今年徳真会グループが取り組む課題として、

①患者様対応面

1. 仙台地区
 - (1) 青葉デンタルクリニック増改築完成(5月)
 - (2) 長町診療センター(仮称)(歯科センター、在宅支援センター)オープン(10月)
2. 東京地区
 - (1) 青山ヘルスタワー(仮称)(一般歯科、先端歯科、医科)オープン(12月)
3. 全地区
 - (1) 在宅支援センター本稼働(目黒、立川、仙台、新潟、福岡)

②組織運営面

- (1) 鶴見大学歯学部にて徳真会講座開設(一般医、専門医の共同育成と、相互供給による患者様対応の拡充)
- (2) 衛生士学校との提携による、優れた衛生士の一貫教育開始
- (3) 遅れた歯科システム分野での電子カルテ自社開発
- (4) 技工分野での海外拠点拡大(ボストン(6月)、ロンドン(9月))
- (5) 徳真会研修制度(Human Development Academy)の更なる充実と外部への開放

以上の様な課題について取り組んでゆきます。

今年も、皆様のご指導の程よろしくお願い致します。

皆様にとって今年が実り多い年となります様、心より祈念致しております。

徳真会グループ
理事長 松村 博史